



# め た せ こ い あ

至 創 努 校  
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937  
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742  
HP アドレス <http://www.shimanet.ed.jp/yoshika/>

## 生徒の可能性

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

先日、宗内前教育長からお電話をいただきました。出雲市の知人の年賀状に、吉賀高校の生徒が立派な発表をしたと書いてあったが、そのことについて知りたいというものでした。

昨年12月に大社町で、出雲市ネットトラブル対応保護者研修会(主催:出雲市教育委員会・Willさんいん)が実施されました。その場で生徒会の代表4人が発表をしています。内容は、ネット利用の問題点と改善に向けた取り組み、7月と9月に吉賀高校で行ったワークショップの報告などです。4人とも大きな声で堂々と、しかも自分の言葉で話しました。取り組みの一つとして作成した啓発ムービーもわかりやすくユーモアがあり、会場からは好意的な笑い声と拍手が起きました。

当日は吉賀高校の他に、出雲市立浜山中学校と大阪羽衣学園高等部が発表をしています。会場の保護者や教育関係者は、「出雲市にもたくさん高校はあるのに、なぜ吉賀高校なの?」という思いをもっていたのではないのでしょうか。あまり馴染みのない吉賀高校が素晴らしい発表をし、しかも、おそらく予想以上の出来だったのでしょう。そのことに驚き、感心された方が多かったように思います。宗内さんの知人の方もそうだったのではないかと想像します。

今年度、Willさんいんのワークショップ事業を吉賀高校で行ったことから、この発表の機会をいただきました。実は彼ら4人は、この発表のためにしっかりと準備をしています。生徒指導部の先生方の指導のもと、聞くところによると前日も夜遅くまで、そして当日も出発ぎりぎりの時間まで準備をしたのだそうです。

教師がきちんと指導し、そして本気で取り組めば、私たち大人が予想する以上の力を生徒は発揮することができる、そのことを感じた出来事でした。私たちは、そうした生徒の可能性をしっかりと心に留めておく必要があります。

## 心の扉～人権・同和教育ホームルーム～

12月16日の7限に人権・同和教育ホームルームの公開授業を実施しました。内容は次の通りです。

- 1年生「身のまわりの差別や偏見について考える」
- 2年生「差別的な言動に遭遇した時にとる行動を通じて学ぶ」
- 3年生「結婚差別から学ぶ」

1・2年生はグループで個人の意見を伝え合い、発表をすることで自分の考えをみんなで共有しました。3年生は、身近な差別事象を題材にして、差別をする人とされる人のそれぞれの気持ちについて考えました。差別をする人が無自覚で偏見を持っていたり、住んでいる場所により差別をしたりしていることに対して、絶対にあってはいけないことだと感じてくれたようです。以下は、生徒の感想文からの抜粋です。

「固定観念・偏見・差別の意味がすごくよく分かった。」

「今でもまだ差別をする人がいるんだと知って、悲しい気持ちと悔しい気持ちでした。」  
「差別について、自分もしっかり勉強し、自分が直面した時に正しい判断ができる人になりたい。」  
「より住みやすい、みんなの居心地が良い環境をみんなで築き上げていけたらなと思いました。」



【写真】1年生の授業の様子



【写真】2年生の授業の様子



【写真】3年生の授業の様子

## 出雲市ネットトラブル対応保護者研修会(情報モラルシンポジウム)

12月20日に大社町で行われた出雲市ネットトラブル対応保護者研修会(情報モラルシンポジウム)に生徒会執行部4名が参加し、本校の情報モラル教育の取り組みについて発表しました。

当日は多くの地域や保護者の方、教育関係者を前に、スライドやユーモア溢れる自作ムービーを交えながら立派に発表を行いました。そのクオリティの高さに主催者である出雲市教育委員会や有限会社Willさんいんの方、ならびに当日の講師である兵庫県立大学准教授の竹内和雄先生からも褒めの言葉をいただきました。



【写真】大きな会場での発表でした。また、多くの人が集まっていました。



【写真】大きなスクリーンに画像を映しながらのプレゼンテーションでした。良い経験になりました。

## センター試験実施

1月17日と18日に大学入試センター試験が実施されました。今年度は教科の受け方によって会場が異なるなど例年より注意が必要な試験となりましたが、前日から会場入りする等、十分な準備をしていたため、何事もなくしっかり試験に集中できたようです。

【写真】センター試験参加者の激励会の様子



## 写真展

昨年12月19日～21日、島根県芸術文化センター「グラントワ」において第42回島根県高等学校写真展が開催されました。この写真展に出品できるのは春と秋の高文連写真コンクールにおいて特選に選ばれた作品です。島根県の全出品数は281作品、そのうち特に優秀な作品が12作品、次に奨励賞が38作品選ばれます。

吉賀高校から出品された7作品のうち、1年1組の中田帆南さんの作品「ど根性」が奨励賞に選ばれました。その他の出品作品は、2年1組の石田梨紗さんの「ヒカリへ」「カラフル」の2作品、松原瑞歩さんの「Longing」「ついてこいよ」の2作品、1年1組の岡本悠さんの「みーつけた!!」、桑原悠菜さんの「ひがんばなと私」が入選しました。

高校写真展の上位作品をみると、見たままを撮影するのではなく、自分のつくりたい絵を写真で表現する傾向がありました。最近ではほとんどすべての作品がデジタルカメラによって撮影されています。デジタルは高価な機材をもたなくてもパソコンの技術さえあれば比較的容易に加工ができます。今後はイメージづくりから始める写真を意識していきたいと思います。



奨励賞 「ど根性」



「ヒカリへ」



「ついてこいよ」



「みーつけた」



「ひがんばなと私」

## 美術展

第47回島根県高校美術展に本校美術部員の作品6点を出品し、そのうちの4点が見事入賞しました。入選作品は以下の通りです。

### 【絵画の部】

「ウラドオリ」2年2組 房崎真澄  
「君と歩いた未知」1年1組 山本真衣

### 【工芸の部】

「姫凜(きりん)」3年1組 清水茉莉奈  
「荒ぶる仏」3年1組 前川空

どの作品も、各自の個性が表れた素晴らしい作品でした。今後も美術部員の応援をよろしくをお願いします。



「ウラドオリ」



「君と歩いた未知」



「姫凜(きりん)」



「荒ぶる仏」

## 保育実習

1月13日に3年生の授業(選択授業「発達と保育」)の一環として保育実習を七光保育所で行いました。授業の中で作成したペープサート(紙を使った人形)を使って「かさじぞう」を上演し、園児たちからたくさんの拍手をもらいました。その後、園庭にてみんなで遊びました。普段幼児と触れ合う機会の少ない生徒達により体験をさせていただきました。七光保育所の皆様、ありがとうございました。

## 薬物乱用防止講座

1月19日に3年生を対象に薬物乱用防止講座が実施されました。警察官と薬剤師の方から様々な事を教えて頂きました。最近よく耳にする脱法ドラッグの事や、映像を利用した具体的な事例の話などがあり、生徒達もしっかり知識を得たようでした。高校卒業後は就職や進学に関わらず、自分の身は自分で守る必要があります。安全に思えたものが実はとても怖いものであった…というような事はしばしばあるものです。薬物に関してもそうであると思います。しっかりした知識を持ったうえで社会に出てほしいと願います。

## 全国野生生物保護実績発表奨励賞

4年前より吉賀高校生徒会が中心となり中学校と地域で取り組んでいた使い捨てカイロによる高津川浄化活動、昨年アントレプレナーシップ教育で関わり、今年地域クラブで観察等実施したヒメバイカモの保全活動、これらの活動に対して環境省と日本鳥類保護連盟共催「第49回全国野生生物保護実績発表大会」において奨励賞が授与されました。



## 卒業に向けた総まとめ

3年生の学年末試験が1月27日に終了しました。高校生活最後の定期試験でした。この定期試験終了により学校への定期的な登校はなくなります。卒業式までは決められた出校日以外は必要に応じて学校に登校し殆どを家庭ですごします。この期間を単なる休みとして誤解しやすいですが決してそうではありません。3年間の最後の総仕上げとして、これからの進路に沿った最終調整を自らが考えて行動する、卒業に向けた総まとめの期間です。次の就職先や進学先でよりよいスタートができるように自ら時間の使い方を考え、必要な行動が取れるようにするための期間です。いわば自宅実習活動というべきものです。高校生活の大きな目標の一つは「生きる力」をつけることです。その力を学んできたのですから、遊びの誘惑に負けず、自分のすべきことを整理し、新しいスタートに備えてもらいたいと思います。

中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内) -

## 吉賀高校特別選抜が行われました!

1月20日(火)底冷えがする寒さの中、吉賀高校の特別選抜が行われました。受験生たちは不安と希望を胸に校門をくぐり、面接と作文に臨みました。生まれて初めて受ける面接や自分を試される作文にさぞ緊張したことと思います。制度が変更されて初めての入試で、生徒の皆さんもしっかり準備をしたうえでの受検であったと思います。合格内定は1月29日(木)に通知されます。